

もくじ

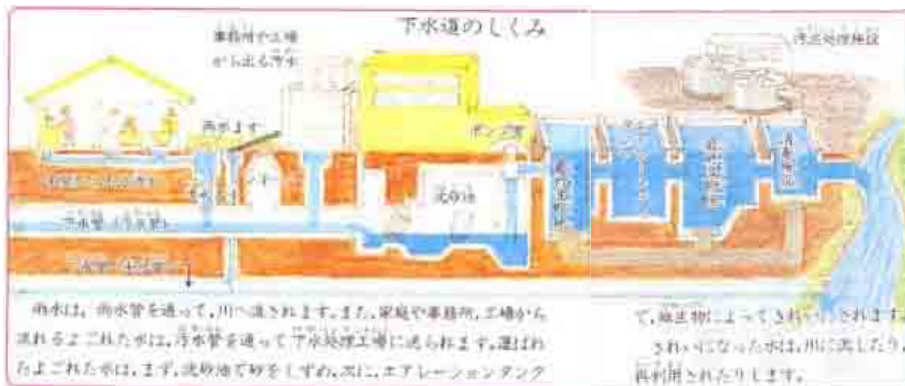
いなわしろ あが
猪苗代湖や阿賀川、湯川の水はどこから来るのでしょうか。



水のじゅんかん

⑤じゅんかんする水

猪苗代湖や阿賀川、湯川の水は、どこから来るのでしょうか。先生が「森は水源としてとても大切なものなのです。森はふった雨をたくわえて、少しずつ流す働きがあります。森を守ることが飲み水をかくほすることにつながっているのです。」と話してくださいました。



下水道のしくみ

雨水は、雨水管^{うすいかん}を通して、川へ流されます。また、家庭や事務所、工場から流れるよごれた水は、污水管^{おすいかん}を通して下水処理工場^{げすいしょりこうじょう}に送られます。運ばれたよごれた水は、まず、沈砂池^{ちんさち}で砂をすずめ、次に、エアレーションタンク^{あいらーしょんたんく}で、微生物^{びせいぶつ}によってきれいにされます。きれいになった水は、川に流したり、再利用^{さいりよう}されたりします。水の元を追いかけていくと、水はじゅんかんしていることがわかりました。



「じゃあ、私たちが使ったあとの水は、どうなるのかしら。」



「下水管^{げすい}を通して、ほとんどが阿賀川に流されているらしいよ。その水をまた下流の市や町で水道水として使うんだって。」

会津若松市では、阿賀川の水をできるだけよごさないようにするために、神指町(こうざしまち)に下水浄化工場を作り、^{じょうか}係の人たちが交代で下水をきれいにしています。

家や工場で使われた水は、どこへ流れていくのか考えてみましょう。

※下水道ができていのは、まだ市の一部ですが、市では、下水道を広げる計画をたてて、工事をすすめています。

市の下水計画



掲載情報の著作権は会津若松市教育委員会に帰属します。